



## 令和5年6月3日(土) 名城大学天白キャンパスでのEプロ活動「天白区連携講座 「親子で楽しい理科学教室」

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生に「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を、特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO)の協力の下に行っています。今年度は名城大学と天白区が毎年共催している連携講座「親子で楽しい理科学教室：ためして知ろう くすりのヒミツ①②」を名城大学 Enjoy Learning プロジェクト(通称：Eプロ)の薬学生と名城大学天白キャンパスの学生(農学部3年生1名、理工学部3年生1名)と共に行いました。

名城大学および名古屋市天白区からの依頼で、令和5年6月3日(土)、名城大学天白キャンパスにて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり実験教室：体験実験」「薬物乱用・依存」を下記の内容で開催しました。名城大学教職センター 谷口正明教授、名古屋市天白生涯学習センターの事前広報・準備のご尽力により、当日は3年生から6年生までの児童10名とその保護者9名が「正しいくすりの使い方」「薬物乱用の危険性」を講義や体験・観察実験から学びました。講義や体験・観察実験の内容について名城大学薬学部 野田幸裕教授(NPO J-DO 副理事長)、間宮隆吉准教授(NPO J-DO 理事)に助言をいただいたことで、「プラスチックみたいなのに、(カプセルを)水でぬらしたらべたべたする。」「オレンジジュースが炭酸になっちゃった。」「指先と爪が洗えてない!」「発泡スチロールが溶けちゃった!」と大好評でした。今年度初めてのEプロの活動の開催となりました。

### 天白区連携講座における「くすり実験教室」

日時：令和5年6月3日(土) 13時30分-16時00分

場所：名城大学天白キャンパス 研究実験棟Ⅳ R4-102

内容：

- ・「実験を始める前のお話」：Q&A方式

間宮隆吉准教授、谷口正明教授の挨拶の後、くすりをどのように使ったら良く効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A方式で小学生の児童に答えてもらうような参加型形式で行いました。名城大学薬学部 間宮隆吉准教授がスライドを使ってわかりやすく説明しました。児童は元気よく挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。

制作：Eプロ(名城大学薬学部病態解析学I：加藤拓真、野田幸裕  
薬品作用学(間宮隆吉)  
監修：NPO J-DO



## ・「体験実験」

小学生は5グループ（1グループ2名）に分かれ、間宮隆吉准教授がスライドを使用して、実験する目的を説明しながら体験実験を行いました。体験実験では、より理解できるように谷口正明教授、Eプロの薬学生（5年生7名）および名城大学天白キャンパスの学生が補助しました。

### <実験項目>

実験1：どうしてカプセルになっているんだろう？

実験2：コップ1ばいの水かぬるま湯で「くすり」を飲むのはなぜ？

実験3：水がなくても飲める「くすり」があるのを知ってる??

実験4：坐薬って何度で溶けるんだろう？

実験5：胃で溶けずに、腸で溶けるくすりがあるのを知ってる？

実験6：シロップの「くすり」とお茶を一緒に飲むとどうになってしまうの？

実験7：胃もたれを和らげるくすり（胃薬）をオレンジジュースで飲むとどうになってしまうの？

実験8：胃薬の胃もたれを和らげるしくみとは？

実験9：うがいぐすりでうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

体験1：正しく手洗いはできる？

体験2：薬剤師の仕事を体験してみよう！



## 天白区連携講座における授業

### 「乱用薬物には絶対、手を出さない！」

日時：令和5年6月3日（土）16時00分-16時30分

場所：名城大学天白キャンパス 研究実験棟Ⅳ R4-102

内容：

・「乱用薬物には絶対、手を出さない！」：講義と実験

薬物乱用はどのように怖いのか、どのような薬がドラッグとして乱用されているか、身近で乱用されている薬の正しい情報、なぜ害があると分かっているにもかかわらず薬物を乱用するのかについて、間宮隆吉准教授がスライドを使用して分かりやすく説明しました。講義では、「タバコによって成長はどうになってしまうのだろうか?」について、タバコを含む水で植物を育てると成長が遅くなるということをハツカダイコンの連続写真を用いて示しました。「お酒を飲むと脳の細胞や肝臓はどうになってしまうのだろうか?」「シンナーを吸うと体はどうになってしまうのだろうか?」については各グループにてEプロの薬学生および名城大学天白キャンパスの学生による観察実験を行いました。

児童とその保護者からは「タバコやお酒を勧められても断ります」「お酒を飲み過ぎないように注意しようと思います」という感想や、「卵の白身にアルコール（お酒）をかけると目玉焼きみたいに白くなった!」「シンナー（アセトン）をかけると発泡スチロール（ヒトの細胞）が一瞬で溶けちゃった!」という驚きの声が多く上がりました。タバコやお酒、危険ドラッグが体にどのような影響を与えてしまうのか、乱用薬物の使用に誘われたらどのように自分の身を守れば良いのかということ、講義や観察実験を通して学ぶことができました。

